

OGD102

テントは野営(屋外での宿泊)で快適に睡眠をとれることを目的として設計されています。設計の前提になっているのは以下のとおりです。

特徴

OGD102はVL・VS・VBシリーズのテントの入口部に設営することで、快適な前室を得ることができ、山岳テントとして企画されたこれらのテントも、OGD102を使用することで超軽量かつ快適なキャンプテントとしてお使いいただくことができます。

OGD102は単体で設営した場合、1~2名で夜露や雨をしのぐことができ、野宿が可能です。

天候

- ・強風 風速が10m/秒を超える場合は設営には適しません。
- ・豪雨 連続雨量100mmを超える場合、または時間雨量25mmを超える場合は雨漏りの心配があります。
- ・耐用年数 合成樹脂や合成繊維は保管方法にもよりますが、3~5年くらいで経年劣化が始まります。
シーズンオフには各部点検をして、問題があれば販売店に相談してください。

設営方法

五角形の頂点部にトレッキングポール・タープポールもしくは代用になる木の枝で立ち上げ、張綱で固定します。残りの4点を張綱でバランスよく張り固定します。クライミングロープなどを木から木に張って、そこからテンションを取り設営することも可能です。出来れば二人以上で設営すれば格段に設営が容易になります。

テント設営

天場で設営することを基本に設計しています。

- ・地面：テントを設営する地面としては、水平で平坦な所が適しています。凹凸のある所は寝心地が悪だけでなく、設計したテントが設計通りの形にならないことがあります。
- ・地形：雨水の通り道になる所(谷状の地形)、雨水がたまる所(くぼみ地)に設営すると、崩れやすくなります。また、風の弱い所を選ぶことも大切です。日差しが強すぎる所では、日中にテント内が高温になります。(夏期にはしばしば70℃を超えます)。

テント内での火器使用

合成樹脂や合成繊維は非常に燃えやすく、非常に高温で溶けます。もし体に付くと大やけどの可能性があり、重大な障害を被る可能性があります。タープ内で火気を扱う場合は最大の注意を払ってご使用ください。

◆タープ各部分の説明

タープ・・・・・・五隅を地面に固定して使用します。また、前側にトレッキングポールや木で固定すると安定します。

柱・・・・・・ポールとも呼びます。付属されていません。ご自身でご用意ください。

バグ・・・・・・テントや張り綱を地面に固定する杭です。

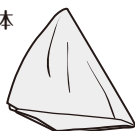
(この製品には付属されていません。ご自身でご用意ください。)

張り綱・・・・・・タープを設営するときに必要になります。詳細はホームページより設営の方法をご参考ください。

収納袋の中身を見てみよう



タープ本体



自在2個付き
4m張り綱×1
(ポール固定用)



自在1個付き
2.5m張り綱×4
(ポール固定用)

